

# 製本のススメ

Vol. 184

気が付けばカレンダーも残り 1 枚となりました。大災害ともいえるコロナウイルスは収まる気配がありません。観光・飲食のみならず殆どの業種で今後の見通しを読み切れず 来年への明るい話題へ繋がりません。まずは手洗いとマスクの着用！感染を広げないように、静かに今年を暮らしましょう。

今回は**しつこいですが紙目**の話し

食傷気味な気もしますが 大切なので何度も書きます。紙の縦目と横目は既にお分かりとおもいます。紙目と平行に折りやすい（曲がり易い）紙目と直角方向には曲がりにくいという習性があります。これは冊子を作るうえで無視できない習性ですが、これを逆手に取って紙目を選ぶ事もあります。例えば卓上カレンダーのスタンド（台紙）のように 自立させたい物やコピー用紙のように機械の中で紙詰まりを防ぎたい物 などは紙目をあえて逆目に紙をとります。（但し、コピー用紙に関しては後加工に不具合がでますので注意が必要です）紙を断裁する場合にも、紙目と平行に切る場合にはスムーズに断裁できますが紙目と直角に断裁する場合には、切れにくく少々技術が必要です。

同様にチケット等の切り取りミシンには、紙目と平行にミシンを入れれば綺麗に切り取ることができます。特に厚手の用紙へミシンを入れる場合にはぜひ紙目を考慮されてください。切れ味が悪いというクレームも紙目 7 割の場合が多いのです。

また特殊な場合ですが、敢えて切れ味を悪くミシン加工し折筋の代わりに使う場合が有ります。ミシン加工されていれば嫌でもそこから折れてしまいます。少数だから残紙で・・・と言う場合もあるでしょうが この際にも紙目を重視していただくと、トラブルが少なく「余っているから この用紙で～」と言うような安易な発想は控えておきましょう。

紙目を無視しては、製本はできないと言っても過言ではないくらい 紙目は印刷以降の加工に大きな影響力を持ちます。



## Tea break

毎日何気なく使っているのに、名前が正式じゃない残念な物ってありますね。たとえば、カーペット等の掃除に使う「コロコロ」これは、ニトムズ社が最初に付けた商品名です。正式には粘着カーペットクリーナーだそうで、言われてみれば確かかと思いますが、一般呼称になってしまいましたね。年末の大掃除コロコロは活躍しそうです。

弊社 HP は [www.isekiseihon.com](http://www.isekiseihon.com)

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本